

豊かな自然と伝統文化の郷 よねかわ

発行元: 米川地域振興会

発行日: 平成24年12月1日

第 20 号

米川新聞 12



公園内の溪流

馬ノ足不動滝公園

東和町米川字馬ノ足

平成9年、東和町中山間活性化事業補助金を活用し、地権者の協力を得て、地域農村公園として整備完成した。ここは往古より景観豊かな場所であり、溪流中の不動滝や清流を好む淡水魚や虫などの水中生物が多数生息していて、公園化により地域の人々はじめ市民の憩いの場として広く利用されている。特に、溪流中に「馬の蹄(ひづめ)の跡」のついた大岩があるが、これは大同年間(806~808年)、坂上田村麻呂征夷大將軍が、鱒淵馬頭観音一山建立の時、地景巡見したが、將軍の名馬「郷黒(さとぐろ)」が残した蹄の跡と伝わり、この地名「うまのあし」の基になったという伝説の地でもある。

また公園向かいの小高い山に塚がある。この塚は「馬ノ足塚」と呼び、直径4メートル、高さ1メートルの円墳状に造られた中世の塚である。塚の周りを42基の※板碑(いたび)が並ぶ。この板碑は、元徳3年~延徳2年(1331~1490年)までに立てられたものである。鱒淵地区では同様の板碑がここ以外にも残されていて、この地区が中世には武士等支配者階級の人たちが居住していたことが考えられる。

※板碑(石の卒塔婆(そとば))とは
いたび、ばんぴとも読む。鎌倉時代(1250年頃)から室町時代(1470年頃)が造立の最盛期。石造りの卒塔婆である。死者の追善供養、生前に建てる逆修(ぎゃくしゅ)供養がある。

岩手県南、宮城県北にある板碑の多くは、ほとんどが石巻の稲井石で造られている。

おもてなしの心 あふれる笑顔

Hospitality 米川公民館 and Smile



K.M



Y.N



K.M

発行元
発行責任者
郵便番号
住所
Tel
Fax
E-mail

米川地域振興会(米川公民館内)
及川 浩
987-0901
登米市東和町米川字四十田25番地1
0220-53-4155
0220-23-9030
yonekawa.kou@chime.ocn.ne.jp